

「甚い事を云ふたなア、やけくそでスココンコンと云ふて來たろかしらん」  
 「そんな事を云ふたら嚙りつかれるで」

「お店は色々な噂をして居ります。旦那は二號のお宅で、」

「これお艶、もう今から歸るのも大儀なで今晚は此處で寝る」

「マア旦那早うに仰つしやれば宜ろしいのに、定吉とんが待つて居りましたのに」

「フム定吉が待つてたのか、本家へ歸つて旦那は竹内さんへ行たら渡邊さんや小林さんがお越になつて碁が始まつたので私もお相手をするので今夜は歸らんから火の用心に氣を付けて先に寝むやうにと云ふて歸しとくれ」

「マア早う仰つしやれば宜ろしいのに……定吉とん大きにお待遠さん。アノ旦那さんは今晚此方でお寢みになるで本家へ歸つたら奥さんに旦那さんは竹内さんへお越になつたら渡邊さんや小林さんがお越しになつて碁が始りきしたので今晚はお歸りになりまへんで火の用心に氣を付けてお先へお寢みと仰つしやつたと云ふて歸つとくれなアレ」

「ア、さよか、そんならお先へ歸らして頂きます」

「ア、一寸待つとくなアレ、アノこれ些少だつせ歸りにおうどんなどおあがり」

「大きに有がたとうさんでござります。さよならお寢み」

「氣を付けて歸つとくなアレや」

「さよなら御免」(ボン鐘の音)

「薩張りわや〜旦那さんのお供をして行くと何時でも遅うなるね、ほんなら歸つて奥さんに怒られるね丁稚が中に立つた柱で辛い〜。旦那さんと一緒やつたら表でも直ぐに開けて呉れるけども私一人やつたらチョツとも開けて呉れよれへん長い事門に立たして置きよるね、此間も横町の赤犬が來てグウや云ひよるね。すつての事で犬に嚙ぶられる處や、今晚歸つたら旦那さんのお歸りだつせと吃驚りさしたるかしらんて、けども嘘をついたら直に拳骨で三つぐらい殴られるね。けども犬に嚙られるよりましや、遣つたる……へい一寸お開け」(トントン)旦那さんのお歸りだす一寸お開け」(トントン)

「コレ居眠つてるのんやない早う表を開け旦那さんのお歸りやと、早う開けんか」(ガラ〜〜)

「へいお歸り」

「へいお歸り」

「旦那さんお歸り」

「フ、表をチャンと閉めときなはれや」

「そら何を云ふね、旦那さんは」